

学校長挨拶

綿打小学校は、平成元年に創立百周年を記念し、今年で百三十周年を迎えます。前身は、明治6年、上田中村六供の長慶寺本堂を仮用した「廣業館」にはじまり、明治22年の町村制実施に伴い、同年7月に綿打尋常小学校となりました。多くの先人の方々が築かれた業績と長い歴史や伝統を受け継ぎ、今に至っています。

学校は、群馬県太田市の西部に位置する綿打地区にあり、農村地域と新興住宅地とが混在する緑豊かなところでは、学校近くには、「矢太神水源」をはじめとする新田地域の代表的な湧水地がいくつもあり、川となって南に流れ肥沃な土地を潤しています。また、綿打地区は、昔から「教育村」と言われており、今も地域の方々から学校の教育活動の様々な面で協力や支援をいただいております。

このように豊かな自然や歴史的な地域素材に囲まれ、協力的な地域の方々の支えがあって、綿打小学校の子どもたちは、明るく素直でのびのびと元気に毎日の学校生活を送っています。

学校の教育目標は、基本目標を「郷土綿打を愛し、豊かな心とたくましい体を持ち、自分から何事にもチャレンジする『綿っ子』を育てる」とし、具体目標に「やさしく」「かしこく」「元気な子」を掲げています。

今年度は、89名の新入生を迎え、全校児童数483名、学級数19学級でスタートしました。一人ひとりの児童が、期待と希望に胸を膨らませて、新年度を迎えました。学校中に笑顔と思いやりの心があふれ、真剣に学習に取り組む、思いっきり体を動かす児童があちこちに見られるように、日々の積み重ねを大切にして教育活動を進めていきます。児童の安心・安全と健やかな成長のために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担い、共に連携、協力して教育にあたれるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

平成30年4月

太田市立綿打小学校
校長 清水 克則



創立百周年を記念して
PTAより寄贈された校旗